

確かな学力向上に向けて

学校と教育委員会は、連携・協力して次の取り組みを進めます。

1 分かる授業の推進

学校での授業は、その時間で行う学習の目標の提示から始まり、振り返りで終わる流れや、学び合いの取り入れなど、基本的なスタイルの共通化を図り、より分かる授業を推進します。

2 授業時数の確保

分かる授業のためにも、学校での学習時間を確保する必要があることから、授業時間を増やします。

7 土曜まなび場事業

家庭学習の習慣化を図るため、小学生を対象に「土曜まなび場事業」を実施しています。来年度の募集内容などは、2月末に各小学校で配布します。

6 あやせ学びづくり運動

家庭と連携して、規則正しい生活と家庭学習の習慣化に取り組みます。「家庭学習の手引き」を作成し、児童・生徒に配布するとともに、市ホームページにも掲載しているのので、活用してください。

5 つまずき対策

学習上のつまずきの防止と克服のため、指導の工夫とつまずきのチェック対策を進めます。

6



3 補習指導の実施

今年度から小学校で始まった学力向上推進支援者による放課後や長期休業中の補習指導を継続していきます。

4 家庭学習の習慣化

今までのような宿題のほかに、児童・生徒が自主的に課題を設定して行った家庭での学習ノートを先生が評価するなど、家庭学習の充実を図ります。



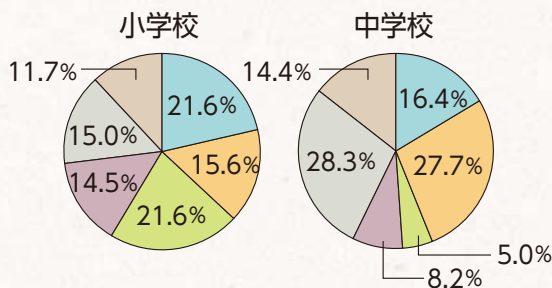
▲家庭学習の手引き(小学生版) 次の手順で市ホームページから見る事ができます。 トップページ→市民向け→教育→教育指導→あやせ学びづくり運動

あやせゼロの日運動

子どもたちの健康的な生活習慣を定着させ、豊かな心を育むとともに、確かな学力の向上のために「あやせゼロの日運動」と連携して展開しています。

この運動は、10日・20日・30日といった毎月ゼロのつく日にテレビやゲームを一休みし、親子と一緒に読書をしたり、家族で団らんしたりするなど、家族の時間を充実させる取り組みです。

ゼロの日運動を実施した感想 (25年度)



- 家族との会話がふえた
 - 本を読む時間がふえた
 - 兄弟と遊ぶ時間がふえた
 - 家のお手伝いをする時間がふえた
 - 勉強の時間がふえた
 - その他
- ※ 無回答・無効は除く



昨年度のアンケート結果からは「家族の会話が増えた」「本を読むことが増えた」「家の手伝いが増えた」「勉強する時間が増えた」など、有意義な時間を持つことができた、という意見が多数ありました。この運動をきっかけに、生活習慣を見直してみませんか。 図生涯学習課 ☎70・5658。

家庭教育は育ちの原点

家庭教育はお子様を育つための基盤であり、全ての教育の原点と言えます。



市家庭教育アドバイザー 増田 岩男

換言すれば家庭で培ったことが、お子様の育ちを左右すると言っても過言ではないでしょう。

育ちの根源となる「早寝・早起き・朝ごはん」などの基本的な生活習慣、人間関係(コミュニケーション)能力や自尊感情(自信)、また家庭学習の習慣などが、家族との愛情ある関わりによって培われ、健やかに育つための礎となります。

体や心だけでなく、学校での学びを充実させるためにも、家庭の在り方は重要な意味を持っているのです。

そのためにも「あやせゼロの日運動」をご理解いただき、ご家族との温かなふれあいを通して、大切なお子様をお育てください。

学校図書館の改善

読書活動は、子どもの情操や豊かな心を育むとともに、理解力、読解力を高め、確かな学力の向上に役立つものです。市教育委員会では、読書活動の拠点となる学校図書館の活性化を図るために、天台小学校をモデル校として学校司書(読書活動推進員)を配置し、蔵書整理や環境整備を行っています。



▲読書活動推進員と児童

▶整頓された天台小学校の図書館



▶お薦め本を展示



書を順次配置していく計画です。 図教育指導課 ☎70・5660。